

中高一貫校であり、高校受験をせず、一貫校でない生徒より一足先に高校の内容を学習できます。さらに高校3年生になった時に十分な時間を大学入試の演習の時間に費やすことができます。また、先生方が基本的な内容から発展的な内容まで自分の成績に似合った課外を展開し、その中から自由に選択することができます。中には入試演習などもあり、とても役に立ちます。授業以外でも先生方が気軽に質問しやすい環境を作ってくれて、いつでも質問できます。高校3年生の時は、こまめに二者面談を行い、自分の成績や今後の進路を詳しく聞き、自分の進路に最適なたくさんのアドバイスをしてくれます。

中高一貫校であるため、部活動は中学3年生で一度引退しますが、すぐに高校生の練習に入れてもらうことができます。また、中学生と高校生で週に何度か合同練習をさせて下さり、高校生の先輩方にたくさん教えてもらえます。それに加えて、6学年が一緒の空間にいるので「縦のつながり」を学ぶことができます。中学3年生から高校1年生に進級するときに、高入生が入学してきて、新たな仲間と切磋琢磨しながら練習ができます。私の現役時代には、最後の引退試合で、茨城県でベスト16の成績を出すことができました。部活動への入部を検討されている方の中には、バスケットに限らず、部活動と勉学の両立は難しいと考えている方もいらっしゃると思いますが、私はむしろ部活動を続けていたことで、スケジュールを組み立てるなどの「時間の管理」ができるようになりました。結果として勉強と部活動を続けることができたので、部活動と勉学の両立はおすすめです。中学校での一番大きな行事は京都・奈良への研修旅行です。京都では研修旅行期間中の一日をタクシー研修という形で班に分かれて、自分たちでテーマを決め、それに沿って自分たちでルートを自由に決めることができます。行く前に事前レポートとしてある程度調査を行う時間を設けてくれるので、実際に行くとともに親近感がわき、古都京都の文化を深く理解することができました。

茨中・茨高の良いところは、何事にも熱心に指導してくれる先生がいることです。勉強面だけでなく、部活動や生活面でも手厚く支えてくれます。自習室など、勉強する空間をたくさん設けてくれ、また、入試前の面接対策や、志望理由書の添削などを細部までしっかりと指導して下さいます。

将来は、情報工学を用いて、遠隔医療の完全な普及、医療機器などの新技術を創出したいと考えています。そのために、茨中・茨高で出会った仲間とともに、今までお世話になった先生方、そして両親への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できるよう精進します。